

## 平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成29年12月31日まで

特定非営利活動法人 Earth as Mother

### 1 事業の成果

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業として、以下の事業を実施した。

(①-1から3)

KTC中央高等学院・名古屋キャンパスの生徒さんに、昔ながらの農業体験・野外学習として豊田市の田畑で、手作業にて田植え、田んぼの草取り、足踏み脱穀、大豆刈込、大豆叩きの社会貢献事業を実施。

(①-4)

研修や交流会に参加。モリコロパーク秋まつりに参加（子どもから大人までものづくりを指導）して、3才からの粘土細工をはさみ一本で作る当会オリジナル作品でモリゾー・キッコロ作り方の指導を実施。

(①-5)

中京大学宮田教授ゼミの香港理工大学留学生農業体験「日本の伝承文化を知る」で当会の昔ながらの手作業での田植え体験と自給米での釜戸炊きご飯で「おにぎり作りと味噌汁作り」を体験し食する事で日本食文化の原点を野外体験学習の実施。

(①-6)

とよたまちさとミライ塾による親子体験稲刈りを企画し多数の親子23名申込みをいただいたが大雨警報で天候不良にて延期、延期日も台風にて中止、参加費の返却をした。

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業として、以下の事業を実施した。

(②-1)

「生き物と野草観察」は、親子参加者が多く、貸出用の虫籠や虫取り網（タモ）を持って田圃の畔や周りを散策して、自然の中で生き物と共生していることを自然観察で学び、昼食づくり体験学習では、食育活動として野外料理のワークショップ形式を実施、畑で採れた新鮮な野菜を親子で調理。子ども達が茹で上がった素麺を丸め、素麺流しを親子交代で楽しみ食べる体験は親子の絆作りに役立った。

(②-2から5)

寺子屋のものづくりは、年4回の食育・食農イベント「田植えイベント」、「生き物と野草観察」、「稲刈りイベント」、「食農感謝祭・餅つきイベント」各回にて自然の竹を活用して幼児から楽しく作れる“でんでん太鼓”や“起き上がり小法師”のような物から年々高度なおもちゃもテーマに水鉄砲等「手作り・伝承」という理念が年々浸透している。

(②-6)

第9回通常総会後に環境保全セミナーを開催「環境と人のあり方を考える」を見直す機会が提供できた。

(②-7)

国際交流活動の中で、岡崎りぶらまつりに毎年恒例で参加「日本の竹を使い昔のおもちゃ作り」を海外からの移住者にも指導・交流にて日本の遊びを伝承実施した。

**③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業**を支援する事業として、以下の事業を実施した。

(③-1から7)

心の学校事業として、「心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象」として言葉遣いや考え方を変える事で「プラス思考」に切替え、苦しい思いの人生観が変わる生き方を指導。

心の問題が物の考え方を変える事で、解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンダラ思考を通して自己改革の仕方を指導する。ワークショップ形式セミナーを愛知県で年6回開催。悩める会員と一般市民の悩める方々を交えて有料で心の学校メンタルヘルス講座を開催。

(③-8)

各相談企業者へのメンタルヘルス・コンサルを毎月1回指導。会内外の方々のメンタルヘルス・心の健康へ寄与した。

(③-9)

平成28年3月31日に豊田市認定第2号 生活困窮者自立支援就労訓練事業所認定をいただき、生活困窮者の自立支援受け入れを開始。

会の農事部の圃場・作業所で農業（心の学校メンタルヘルスの課外授業として実践圃場として活用）を通して、その方々に強制する事なく一緒に作業指導をしながら社会復帰を目指して相手の立場に立って無理なくやる気・元気を取り戻し自主性・自立支援を実施。

豊田市福祉課より生活保護者の支援も依頼されて、同じように取り組んでいる。専任相談員として副理事長を任命し、有給理事として雇用。相談員として対応従事。他県を含め、10名の受け入れを実施。その中で、就労に到った利用者様も現れた。

**④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業**として、以下の事業を実施した。

農業を通じて豊田市猿投町と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症などの知的障害・発達障害等）・うつ病・生活困窮者・生活保護者の方々と共に自立支援を実施。共働共生のコミュニティ創り（マザリーアース・プロジェクト）を目指し、農薬・化学肥料、除草剤を一切使用しない安心安全な農業指導を実践の中で、健康に関わる問題改善や解決を図る為に、耕作地は、豊田市農地バンクを活用し田20反、畑7反の不耕作地を借入と農業後継者問題の中で有機循環自然農法の普及を会員や一般者・ボランティアに向けての農業指導で実践。無農薬で安心安全、子ども達も美味しいと喜んで食べられる野菜を提供

するイベントを開催して、農業と食育の大切さを伝える機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤を形成出来る様に活動を推進。農業推進普及と向上と同時に環境保全で生き物や自然との共生の大切さ、いのちを育む大切さを活動を通して伝え、そして半農半就をしながら福祉と農業を活かした自給自足のコミュニティ構築を目指して実践した。

#### (④-1から3)

食農イベント2回(田植え・稲刈り)は、心の学校の課外授業として位置付けで手植えの田植えから手刈りの稲刈りまでのお米の出来る学習を子供から大人まで学ぶ為に開催。食育イベント1回は食農収穫感謝祭の餅つきを実施した。このイベントでは、日頃のCSR・企業ボランティア活動にて農業支援・応援・ご協力をいただいている、安城市の東和精機株式会社様とトヨタ自動車株式会社様から農業ボランティアに参加者された方々に感謝を込めて、収穫感謝祭にご招待の声掛けをさせて頂き、一般者と一緒に楽しんでいただく企画を実施した。

食育委員の料理スキルをワークショップ形式で無農薬野菜の素材を生かした料理を参加者・親子にも調理指導。野菜嫌いの障がいを持っている子ども達が喜んで食べる姿を親が見て感動された。それを見て私達も「苦勞して野菜を作った結果、野菜嫌いの子ども達が喜んで食べるのを見て」スタッフ全員が喜べた。会員やご家族に限らず、参加者の子ども達にも農業を伝承して、美味しい無農薬野菜の味を知る事で、元気に健康になって頂き未来・将来に役立てればと、イベント開催に意義が見いだせた。もし食糧危機が来た時に農業経験があれば、災害時に生き残れ、自然と共生をして行く事の大切さを体験していれば、農業は次世代の担い手に受け継がれると私達は信じ「社会貢献事業」として青少年育成と社会人・留学生の受入も実施している。

#### (④-4)

食育関係のフォーラム「いのちの波動」の主催は、ホリスティックな健康づくり委員会。健康になれる農薬化学肥料除草剤を一切使わない野菜・ご飯を1,000名の参加者に向けて試食ブースとホリスティックスタッフのおにぎりを依頼され売上が見込まれた。当会のスタッフ全員で会の野菜を提供した。食の大切さや当会の理念・活動を多くの方々に伝えた。合わせて会の広報活動を実施し他事業への参加者(1名)につながった。

#### (④-5)

農事事業部経費は、マルシェ事業に入らない経費で農業のイベントや困窮者・ボランティアの作業所等にボランティアの送迎費用等を含む経費。

#### (④-6)

マルシェ事業は、農業福祉コミュニティ構築に向けた、資源循環や環境保全を実現する為の有機循環自然農法(当会呼称)を普及・啓蒙・実践する為に農業専任者有給雇用した費用。田圃を増設し20反耕作し4種類のお米を生産した。

#### (④-7)

マルシェ事業に関わる農作物を作る資材を購入、堆肥や農機具の運搬ダンプカーとカー

ポートを購入、減価償却が増減した。

⑤前各号の事業を遂行するために必要な事業として、以下の事業を実施した。

(⑤-1) フォーラム：よみがえりのレシピ

農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業の助成を受けて9月10日開催。

当会の未来に繋ぐ食生活と伝承農業の活動そのものが、映画になった『在来作物で味覚のレッスン』と『よみがえりのレシピ』2本立ての上映会で、映画監督の渡辺智史氏の講演会と「食育の根本を提言する」を山本理事長の手料理「愛知の郷土料理・酢味噌素麺と五平餅」を食した感想を交えての対談で時間一杯になった。農業の在り方や昔ながらの理にかなう野焼農法と自然の摂理で地域再生に取り組む山形大学の江頭准教授と野菜を活かして独特な料理にする奥田シェフの心が伝わり、在来作物を現代に伝える農家の方々の生き方を伝えることが出来た。

本来あるべき日本人として「人間」「生活」「食育・食農」あるべき姿を痛感させられた映画だ。愛知の伝承野菜・在来種・固定種にこだわり農業を実践している当会理念と愛知の伝統料理を参加者に対談のバック映像で知らせめ・宣伝して開催を終えた。知らない料理を知ったと料理講座の反響もあり、次年度の活動が楽しみになった。会の農作物ブースにて試食に出した農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない作物を参加者、殆どの方々に味わって頂き、多くの方々に好評をいただく。

(⑤-2から4)

豊田市協働事業として始めた市民農園事業は、2016年度に助成金対象期間が終了。6期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度の講師は自主管理の方々の発表の場所として市民農園マザリーアースを青空会場にして一般市民も対象に有料で農業の普及活動として開催。

(⑤-5)

飛騨市エリアのありがとうファーム(株)主催にて開催した「アーステーブル」には、利用者見学会と役員数名でサポートに出かけた。ブース出展では当会のお米三種を釜戸を持参して、釜戸炊きご飯の試食やその他作物の販売等をしてイベントの仕方をエリアスタッフの方々へ指導。

(⑤-6から7)

自主映画上映会2015年の「世界が食べられなくなる日」、2016年「パパ、遺伝子組み換えってなあに？」に続き、第三弾として豊田市と名古屋市にて上映会を実施。

◆1回目「いただきます～みそをつくる子どもたち」を上映し、子どもたちが自分達で食べる味噌汁の味噌を自ら作り、食物の命をいただく事を学び、私達は子どもたちにどんな未来を残せるか!!パネルディスカッションを交えて参加者の皆様と考える為に実施。豊田市開催では、パネラーとして「野外保育 とよた森のたまご」代表 遊佐 美絵 女史、「森のようちえん てんとうむし」代表 白神 由美子 女史、「Slow Food Hida-Takayama」代表 東馬 和嗣 氏をお迎えし当会の「NPO法人 Earth as Mother」理事長・心の学校講

師 山本 百百代も参加、コーディネーターは、副理事長 村野 政章で盛大に終えた。

◆2回目、名古屋市開催では、パネラーとして「Slow Food Hida-Takayama」代表 東馬 和嗣 氏、「NPO法人日本ホリスティック医学協会」理事 長谷部 茂人 氏と「NPO法人 Earth as Mother」理事長・心の学校講師・山本 百百代も参加、コーディネーターは当会副理事長 村野 政章をして実施。当会の野菜や味噌汁とご飯の試食とスーパーの野菜の食べ比べを今回も実施し味の違いを実食体験で実感して頂いた。

子ども達や参加者が「スーパーの野菜は苦く不味い」とニンジン嫌いな子どもが「会の野菜を美味しいと何本も食べた」と評価された。当会の「新野菜ジャムを発表、白砂糖不使用」で安心安全と好評、「無添加のポン菓子」も「これなら安心して、子ども達に食べさせられる」と親から評価され長年の想いが実現した。来年度の野菜づくりに楽しみが膨らんだ。

名古屋での上映会では、質疑応答の時に沢山の方の意見を戴き、「健康に生きる為に拘って農薬と化学肥料を一切使わない野菜を自給自足して玄米を食べて老人痴呆症の親を治した。」とか豊田の上映会に参加「手前味噌を作り乳酸菌発酵とアミノ酸が豊富な事を知り親子三世帯が朝食を和食に変えました。」と二回目も名古屋に来られて賛同された。作物のいのちをいただく意味が自分達の健康に繋がる事を子ども達や育てる親に知って頂く良いきっかけにと上映会を希望する方が愛知県地域で3カ所の申込み方法の相談者があり食育推進事業として反響が大きかった。

本来あるべき日本人として、幼稚園児のしつけと健康になる基礎体力づくりと日本食による大豆から作った味噌の発酵乳酸菌とアミノ酸等の栄養を摂る給食つきの幼児教育を実践する保育園のドキュメンタリー映画を見て、「福岡市の高取保育園の園長さんが、農家に無農薬・野菜と米と大豆の耕作依頼をして、子ども達のアトピー性皮膚炎も昔ながらの食生活、玄米ご飯と具沢山の味噌汁とお魚の給食は日本人の健康を作る基礎」でした。子ども達に給仕から片付け、掃除も出来る自立教育の素晴らしさ、当会の心の学校メンタルヘルスの受講生、うつ病者や発達障害者の親が甘えかして育った大人に足りない、「しつけ教育」を現代も実践されている素晴らしい教育者のドキュメンタリーに感動し、私達の実践が間違いないと共感した。又、共感を持たれた若いお母様と色々と話がその後も子ども達に料理体験を教育していく事が大切と話し合えた。

休憩時間では、ブースにて農薬、化学肥料、除草剤の一切使用しない作物の試食を参加された殆どの皆様に味わって頂き、多くの方々から好評をいただく。

#### (5-8)

農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業の助成を受けて「旬の野菜を活用した伝統料理講座」を開催。

食育活動の一貫として9月2日を1回目として3回開催を企画。本年度は、1回目“愛知の郷土料理 ①『五平餅と酢味噌そうめん作り』と題し、忘れられた郷土料理を実際に調理して味わい伝承されてきた食生活や夏を乗り切る暮らしの知恵を当会の理事長が献立を作った講話等を交えて開催。料理指導は、「こども料理教室まじかる\*COOK」代表・

近藤ゆり女史とスタッフの方々。

(⑤-9 (1) (2) (3))

農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業の助成を受けて講座を開催。

愛知県の伝統野菜“方領大根・宮重大根”を種蒔きから大根の収穫までを親子や農業に興味のある方に向けての体験講座を実施。作った大根で家庭料理にと農薬・化学肥料を一切使わない有機循環自然農法栽培指導を「岡崎市のサトウバイオ企画代表、EMひろば事務局長」の佐藤文男氏とスタッフで実施。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業				9,040
①-1 社会貢献事業	(他団体交流事業) KTC中央高等学院 名古屋キャンパスの学生さんへ農業体験「田植え」を実施。	(A) H29.5.15 10:30~12:00 (B) 豊田市猿投町棒の手会館裏の田んぼ (C) 6人	(D) 農業体験を希望する学生と教員とボランティア (E) 7人	0
①-2 社会貢献事業	(他団体交流事業) KTC中央高等学院 名古屋キャンパスの学生さんへ農業体験「稲刈り」を実施。	(A) H29.10.9 10:30~12:00 (B) 豊田市猿投町棒の手会館裏の田んぼ (C) 2人	(D) 農業体験を希望する学生と教員とボランティア (E) 7人	0
①-3 社会貢献事業	(他団体交流事業) KTC中央高等学院 名古屋キャンパスの学生	(A) H29.11.20 10:30~12:00 (B) 豊田市猿投地	(D) 農業体験を希望する学生と教員と	0

	さんへ農業体験「畑での作業」を実施。	区 当会圃場 (C) 3人	ボランティア ア (E) 7人	
①-4 社会貢献事業	(他団体交流事業) 粘土細工「モリゾー・キッコロ」手作り教室を行った。	(A) H29.9.24 10:00~17:00 (B) モリコロパーク (C) 7人	(D) 物作りに関心がある市民 (E) 27人	4,040
①-5	(国際交流) 中京大学宮田ゼミ香港理工大学学生農業体験「日本の伝承文化を知る」の受入を行った。	(A) H29.5.15 9:00~13:00 (B) 豊田市猿投町棒の手会館裏の田んぼ (C) 6人	(D) 農業体験を希望する留学性と教員と通訳 (E) 14人	0
①-6	(とよたまちさとミライ塾) 「親子で稲刈りと五平餅づくり体験」を行う予定だったが、雨で中止した。*雨天中止	(A) H29.10 (B) 豊田市猿投町棒の手会館裏の田んぼ (C) 2人	(D) 食育・食農に関心がある市民 (E) 23人	5,000
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業				24,662
②-1	(環境イベント) 「生き物と野草観察」を行った。	(A) H29.8.6 10:00~17:00 (B) 豊田市猿投町の手 当会圃場 (C) 12人	(D) 自然環境保護などに関心がある市民 (E) 39人	18,506
②-2	(ものづくり) 「田植イベント」で、ものづくり講座を行った。	(A) H29.5.7 13:00~14:00 (B) 豊田市猿投町棒の手会館裏の田んぼ (C) 3人	(D) 物作りに関心がある市民 (E) 5人	0

②-3	(ものづくり) 「生き物と野草観察」 で、ものづくり講座を行 った。	(A) H29. 8. 6 10:00～17:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館 裏の田んぼ (C) 3人	(D) 物作りに関 心がある市 民 (E) 8人	0
②-4	(ものづくり) 「稲刈りイベント」で、 ものづくり講座を行っ た。	(A) H29. 10. 8 13:00～14:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館 裏の田んぼ (C) 3人	(D) 物作りに関 心がある市 民 (E) 4人	0
②-5	(ものづくり) 「食農感謝祭・ 餅つきイベント」で、 ものづくり講座を行っ た。	(A) H29. 12. 10 13:00～14:00 (B) 豊田市猿投町 内 当会の寮 (C) 3人	(D) 物作りに関 心がある市 民 (E) 14人	0
②-6	第9回通常総会後に 環境保全セミナーを行 った。	(A) H29. 6. 11 14:00～16:00 (B) イーブルなご や 第2研修室 (C) 12人	(D) 当会会員 (E) 11人	6,156
②-7	りぶら祭2017～国 際交流にて、竹を使った ものづくり「でんでん太 鼓と竹ぽっくり」を2日 間行った。	(A) H29. 11. 12～ 11. 13 9:00～17:00 (B) 岡崎図書館 交流プラザ 岡崎 リブラ (C) 7人	(D) 物作りに関 心がある市 民 (E) 49人	0
③保健、医療、 老人福祉及 び健康促進 事業を支援 する事業				2,051,706
③-1	(心の学校初級編) テーマ『自分の短所を知 る①』を行った。	(A) H29. 4. 30 13:30～16:30 (B) イーブルなご	(D) メンタルヘ ルスに関心 がある市	400

		や 第7研修室 (C) 2人	民・会員 (E) 5人	
③-2	(心の学校初級編) テーマ『自分の短所を知る②』を行った。	(A) H29. 5. 28 13:30~16:30 (B) イーブルなご や 第2研修室 (C) 2人	(D) メンタルヘルスに関心がある市民・会員 (E) 5人	800
③-3	(心の学校初級編) テーマ『悩めるあなたに心の解放の仕方③』を行った。	(A) H29. 6. 25 13:30~16:00 (B) イーブルなご や 第7研修室 (C) 2人	(D) メンタルヘルスに関心がある市民・会員 (E) 8人	400
③-4	(心の学校) テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント①』を行った。	(A) H29. 8. 27 13:30~16:30 (B) イーブルなご や 視聴覚室 (C) 2人	(D) メンタルヘルスに関心がある市民・会員 (E) 5人	1,000
③-5	(心の学校) テーマ『欠点を見つけ、自己反省と見直し』を行った。	(A) H29. 9. 30 11:30~15:00 (B) レストラン・アリーニュ (C) 1人	(D) メンタルヘルスに関心がある市民・会員 (E) 5人	0
③-6	(心の学校) テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント②』を行った。	(A) H29. 10. 29 13:30~16:00 (B) イーブルなご や 大会議室 (C) 2人	(D) メンタルヘルスに関心がある市民・会員 (E) 5人	800
③-7	(心の学校) テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント③』を行った。	(A) H29. 11. 26 13:15~17:45 (B) とよた市民活動センター 活動室② (C) 2人	(D) メンタルヘルスに関心がある市民・会員 (E) 3人	0

③-8	心の学校・事業者向け コンサル	(A) H29.5.1～ 12.31 14:00～21:30 (B) 鶴舞事務所 (C) 2人	(D) 事業に悩み がある市 民・会員 (E) 12人	0
③-9 社会貢献事業	豊田市より認定を頂い ている「生活困窮者自立 支援就労事業認定」事業 運営し、生活困窮者・生 活保護者の自立支援活 動を農業を通して支援 活動する為、専任者有給 雇用を行った。	(A)H29.4.1から H29.12.31 (B)当会、豊田市藤 岡・猿投地区の圃 場及び研修施設・ 作業所 (C)専任者1名 随時 農事業部ス タッフ 数名	(D)豊田市・社会 福祉協議会、土 岐市より依頼の ある生活困窮 者・生活保護者 (E)10人	2,048,306
④資源循環 型・環境保 全型経済を 推進するコ ミュニティ の構築事業				7,154,763
④-1	食農イベント① 「生きものを守る棚田 で素手で昔ながらの田 植え！」と食育活動で昔 懐かしいおこげの出来 る釜戸炊きご飯と3年 発酵の豆味噌による味 噌汁づくり。	(A) H29.5.7 10:00～16:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館 裏の田んぼ (C) 10人	(D) 農薬・化学 肥料・除草剤 不使用の農 業に関心 がある市民・会 員 (E) 27人	11,024
④-2	食農イベント② 「生きものを守る棚田 で手鎌での稲刈り体験」 と食育活動で昔懐かし いおこげの出来る釜戸 炊きご飯と3年発酵の豆 味噌による味噌汁づく り。	(A) H29.10.8 10:00～16:00 (B) 豊田市猿投町 棒の手会館 裏の田んぼ (C) 14人	(D) 食農、農 薬・化学肥 料・除草剤不 使用の農業 に関心があ る市民・会員 (E) 23人	9,964

④-3	食育イベント 「食農感謝祭・餅つき」 と太鼓演奏を行った。	(A) H29. 12. 10 10:00～16:00 (B) 豊田市猿投町 内 当会の寮 (C) 15人	(D) 安心安全な 食材・食育に 関心がある 市民・会員 (E) 36人	52,417
④-4	(食育関係の活動) 主催;ホリスティックな 健康づくり委員会・フォー ラム「いのちの波動」 で自給自足のご飯と野 菜と漬物、お米の加工品 で1,000人の試食会を行 った。	(A) H29. 12. 3 11:30～17:00 (B) 名古屋市 白鳥ホール (C) 14人	(D) 健康、自然 治癒、代替療 法などに関 心がある市 民 (E) 1,000人	210,273
④-5	(農事事業部) マルシェ事業に含まれ ない事業費。会のグルー プや市民農園等にむけ ての、什器備品の貸出の 道具や消耗品の購入費 と作業所費用等。	(A)H29. 4. 1 から H29. 12. 31 (B) 当会、豊田市藤 岡・猿投地区の圃 場と作業所施設 (C) 専任者2名と随 時ボランティアス タッフ	(D) 生活困窮者 やボランティア の方々と市民農 園利用者 (E) 多数	526,445
④-6	(マルシェ事業) 農業福祉コミュニティ 構築に向けた、資源循環 や環境保全を実現する 有機循環自然農法(当会 呼称)の耕作で出来た作 物の販売を普及・実践す る為の、農業専任者1人 有給雇用した。	(A)H29. 4. 1 から H29. 12. 31 (B) 当会、豊田市藤 岡・猿投地区の圃 場及び研修施設・ 作業所、マルシェ 開催場所(豊田市 内・名古屋市) (C) 専任者1名	(D) マルシェに おいては、安心 安全な食を求め る一般市民 (E) 多数	2,141,564
④-7	④-6のマルシェ事業 を推進する為に必要な その他経費(農機具・重 機・たい肥等)。	(A)H29. 4. 1 から H29. 12. 31 (B) 当会、豊田市藤 岡・猿投地区の圃 場及び研修施設・ 作業所 (C) 専任者1名と	(D) なし (E)	4,203,076

		随時ボランティア スタッフ		
⑤前各号の事業を遂行するために必要な事業				815,489
⑤-1	(フォーラム事業：シンポジウム) 「在来作物で味覚のレッスン」「よみがえりのレシピ」の上映会と渡辺監督講演、当会理事長との対談を行った。	(A) H29.9.10 12:30-17:00 (B) 豊田市福祉センター (C) 10人	(D) 食育・食農、在来作物に関心がある 市民・会員 (E) 80人	334,972
⑤-2	(市民農園事業) 『利用者の作物作り研究会』青空交流会を行った。	(A) H29.7.16 10:00~12:30 (B) 市民農園 マザリー アース (C) 4人	(D) 作物づくりに関心がある 市民・会員 (E) 8人	3,220
⑤-3	(市民農園事業) 『利用者の野菜作り研究会』青空交流会を行った。	(A) H29.11.5 10:00~12:30 (B) 市民農園 マザリー アース (C) 4人	(D) 作物づくりに関心がある 市民・会員 (E) 8人	3,786
⑤-4	市民農園事業 年間利用管理	(A) H29.4.1~29.12.31 (B) 市民農園 マザリー アース (C) 2人	(D) 市民農園年間利用者申込み (E) 19人	75,262
⑤-5	岐阜エリア主催「アーステーブル」に出展した。	(A) H29.7.22 10:00~12:00 (B) 岐阜県飛騨市ありがとうファーム (C) 10人	(D) 食育・食農、自然環境に関心がある 市民・会員 (E) 69人	0

⑤-6	(上映会事業) 豊田市にて開催 「いただきます～みそをつくる子どもたち」を上映。パネラーを交えたパネルディスカッションも行った。	(A) H29.4.9 14:00～17:00 (B) 豊田市福祉センター 4階 41会議室 (C) 14人	(D) 食育・和食給食で味噌汁と玄米ご飯・子ども達の健康と未来に関心がある市民・会員 (E) 96人	139,092
⑤-7	(上映会事業) 名古屋市にて開催 「いただきます～みそをつくる子どもたち」を上映。パネラーを交えたパネルディスカッションも行った。	(A) H29.4.23 13:00～16:00 (B) イーブルなごや 大研修室 (C) 14人	(D) 食育・和食給食で味噌汁と玄米ご飯・子ども達の健康と未来に関心がある市民・会員 (E) 66人	76,807
⑤-8	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 自家製大豆から作った味噌・野菜を使った愛知の郷土料理 ①『五平餅と酢味噌そうめん作り』と題した料理講座を行った。	(A) H29.9.2 10:00～14:00 (B) 名古屋市生涯学習センター調理室 (C) 6人	(D) 愛知の伝統料理の五平餅と酢味噌に関心がある市民・会員親子参加、障害のある子ども達も参加 (E) 28人	71,074
⑤-9(1)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 郷土の伝統野菜の「大根を作ろう!!」と題して3回講座を開催。 豊田市の圃場で、1回目大根の種蒔きを行った。	(A) H29.9.16 13:30～16:00 (B) 猿投コミュニティセンター&四郷町の圃場 (C) 4人	(D) 愛知の伝統野菜、農薬・化学肥料・除草剤不使用の作物づくりに関心がある市民・会員 (E) 15人	111,276

⑤-9 (2)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 郷土の伝統野菜の「大根を作ろう!!」2回目大根の間引きを実施体験。	(A) H29.10.21 13:30~16:00 (B) 猿投コミュニティセンター& 四郷町の圃場 (C) 4人	(D) 愛知の伝統野菜、農薬・化学肥料・除草剤 不使用の作物づくりに関心がある市民・会員 (E) 15人	0
⑤-9 (3)	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 郷土の伝統野菜の「大根を作ろう!!」3回目大根の収穫を実施体験。	(A) H29.12.2 13:30~16:00 (B) 猿投コミュニティセンター& 四郷町の圃場 (C) 5人	(D) 愛知の伝統野菜、農薬・化学肥料・除草剤 不使用の作物づくりに関心がある市民・会員 (E) 15人	0

## (2) その他の事業

本年、その他の事業は実施しなかった。

## 3 会議の開催に関する事項

### (1) 総会

#### ア 通常総会

##### (ア) 開催日時及び場所

平成29年6月11日 11:00~12:30  
イーブルなごや(名古屋市女性会館)第2研修室

##### (イ) 議題

- ①第一号議案 平成28年度 事業報告、収支決算報告について
- ②第二号議案 平成28年度 寄附金活用報告について
- ③第三号議案 平成28年度 監査報告について
- ④第四号議案 平成29年度 事業計画(案)、収支予算(案)について
- ⑤第五号議案 平成29年度 理事(案)について
- ⑥第六号議案 平成29年度 運営組織・人事(案)について

- ⑦第七号議案 事業年度の変更について
- ⑧第八号議案 大型寄附金の活用方法について
- ⑨第九号議案 生活困窮者支援事業の専任者新規雇用者について
- ⑩第十号議案 農事事業の専任者新規雇用について
- ⑪第十一号議案 定款内容の変更について
- ⑫第十二号議案 HPリニューアルについて
- ⑬第十三号議案 その他

(2) 理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成29年5月28日 19:55～22:00

当法人農事専従者寮 会議部屋

(イ) 議題

- ①第一号議案 総会前の議題の見直しについて
- ②第二号議案 新規事業の見直しについて
- ③第三号議案 理事の継続について
- ④第四号議案 生活困窮者事業について
- ⑤第五号議案 スケジュールの確認について
- ⑥第六号議案 その他について

イ 第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成29年12月23日 14:20～18:35

当法人農事専従者寮 会議部屋

(イ) 議題

- ①第一号議案 平成30年事業方針について
- ②第二号議案 平成30年度年間スケジュールについて
- ③第三号議案 平成29年度寄附金使用用途について
- ④第四号議案 第10回通常総会議案について
- ⑤第五号議案 第10回通常総会プログラムについて
- ⑥第六号議案 農事専任者雇用について
- ⑦第七号議案 その他について